



# 山形南高(山形市・高)

## 東京同窓会報

第十三号  
平成28年11月5日発行  
千代田区平河町2-6-3  
山形県東京事務所内  
山形東京同窓会事務所  
毛利 昭  
小松 栄三郎



### 東京同窓会へ 100万円の寄付!!



山形南高東京同窓会  
会長 毛利 昭

同窓生とはありがたいものであり懐かしい存在でもあります。高校生活僅か3年と言う短い期間の在籍でしかなく、人生におけるほんの一時の縁でしかありませんが、多感な時期を過ごした学び舎への想いは共に体の中に染み付いているからだと思います。

山形南高東京同窓会は今回で第15回目の節目とも言えるべき総会を迎えることになりました。ここまで本同窓会を牽引してこられた先輩諸兄に、心からのお礼を申し上げると共に、本会をますますの発展を約束したいと思います。親睦団体と

はいえ組織体である以上、活動は厳格に行う必要があります。幹事一同、心を一つにして運営に当たっております。また、組織体である以上活動の原資たる会費の納入は不可欠であり、会員諸氏へ会費納入を促して参りましたところ、徐々にではありませんがその成果も現れ喜んでいるところでございます。せめて400名の方々からの会費があれば何とか組織の維持は可能な状況となっております。今後とも、ご協力のほどを重ねてお願い申し上げます。

昨年も同様なお願いをしつつ総会の席上でもその窮状を訴えて参りましたが、その翌朝、自宅の電話が鳴り「東京同窓会に100万円の寄付をしたい」との嬉しい知らせが飛び込んで参りました。電話の主は南高12回卒の片桐秀昭氏で、現職は「財団法人日本書写技能検定協会・専務理事」で文科省などの後援を受け、毛筆や硬筆書の技能検定を実施している団体の長を務めておられる方でした。総会終了後の祝賀会の美酒に酔い、二日酔い気味であった私の頭もその一言で一気にクリアー(要するに二日酔い

いが吹っ飛んだということ)になり、感謝の言葉を述べさせて頂きました。片桐氏とは同じ12回の卒業で、同期会ではいつも顔を合わせている間柄であり、酒が入ると高校時代の書道部の思い出話をされる方でもあります。

(人に話をするときはここに「気が変わらないうちに」を挿入するのが早速手続きを済ませ100万円が納入されたところへ、またまた嬉しい知らせが舞い込んで参りました。やはり同期の奥山徹氏(昨年のビジネス交流「演題・謙信の軍資金に学ぶ」講演者)が、薬学会の名門明治薬科大学の理事長に推挙され、就任したとの知らせでした。薬学博士の称号を有し理事に就任していたことは知っておりましたが、その長に推挙されたと言う事は、これまでの実績の成せる結果であろうと喜んでおります。

顧みれば、勉学あるいは仕事を得ての上京ではありましたが、慣れ親しんだ故郷の山形を遠く離れた地への異動は、「やるぞ」との気概は有してはいても心中には心細いものもあり、望郷の念に駆られることも一

度や二度では無かったはずだと思います。その様な逆境を跳ね除け身を起こし、別天地に生活の基盤を構築するために、並外れた努力と精進が有ったものと推察しております。総会でお会いする若い方々の中にも、会社の重責を担い活躍されている方々や、起業して事務所を構えた方々などがお出でになり、「南高健児ここにあり」を実感するのはこの上ない喜びでもあります。

今後は、学生あるいは社会人として上京する後輩諸君に、山形南高東京同窓会の存在を周知すると共に、上京初回は本総会並びに祝賀会に招待(当然無料)しその雰囲気味わって頂き、その後は共に助け合う集団として本会を盛り上げて行きたいと思っております。これからも、会員相互の親睦の輪を広めると共に、絆を深めていくよう努力していく所存ですので、ご協力頂きますようお願い申し上げます。



片桐氏への感謝状授与式  
(山形にて2016年10月22日)

## 私のオリンピックと南高祭



山形南高同窓会

会長 荒井 満

今年5月の同窓会総会において、第9代会長に選任されました南高16回卒の荒井でございます。どうぞよろしくお願い致します。

南米初のリオ・オリンピックも日本選手団の大活躍で深夜までテレビにくぎ付けで寝不足の毎日でした。その興奮も冷めない8月25日から28日まで山形の南高では、第53回の南高祭が過去最大の3800人の来場者を迎えリオ以上に盛り上がり開催されました。

私が2年生の1964年10月10日国立競技場において東京オリンピックの開会式が行われ、日本の戦後復興を世界に示すスポーツの祭典の幕がきつて落とされました。ちなみに私は学校から公欠？をもらい11日に国立競技場でハンガリーとモロッコのサッカーの試合を見に行きました。赤々と燃える聖火を間近で見ることで感激しました。今でも脳

裏に焼き付いています。

開会式の2日前、山形では10月8日から南高で第1回南高祭が賑々しく開催されました。クラスマッチや仮装大会そして文化部の展示などがあり他校とりわけ女子高生が大勢来校しワクワクしながら見入りました。初めて開催されたオリンピックと南高祭。まさに盆と正月が一緒に来たようでした。それ以来私はオリンピックが開かれると連想ゲームのように南高祭の思い出が甦って来るのです。

今年も学校に足を運び有名なウォーターボイズなど我々の頃はひと味もふた味も違う南高祭を見て参りました。学校長と2人で南高生の自主性と行動力の素晴らしさに感銘するばかりでした。

年々充実してきた南高祭を目の当たりにして、また、オリンピックのことが頭をよぎりました。4年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックが見事に成功されることを念願したところです。東京同窓会の会員の方々も係わりを持たれている方もおられるかと思いますが、ぜひ、成功に向けてご尽力いただきたいと思えます。

雑文となりましたが、結びに南高東京同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

## あいさつ



山形南高

校長 奥山 雅信

東京同窓会の皆さまには、日頃から本校教育に対しまして、ご支援とご指導を賜り心から感謝申し上げます。

私は、この春から校長を仰せつかっております南高26回卒、柔道部OBの奥山雅信と申します。平成20年から2年間教頭としてお世話になり、また本校に勤務できることを大変うれしく光栄に思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年の夏は、インターハイでバスケットボール部が19年ぶりに3位入賞を果たし大いに盛り上がりました。近年の高校バスケット界は、身長2m級の外人選手を擁する私立高校が上位進出している中で全国3位ですから、まさしく快挙と言えます。この他、個人種目でボクシング、陸上、剣道部、全国高校総合文化祭に書道、写真、囲碁部が出場し、それぞれの競技、部門において、おほ

いに「山形南高校」の名を全国に知らしめてくれました。

また、南高祭では、「南高祭3原則」のもと、ウォーターボイズや書道パフォーマンス、そして復興支援企画を開催するなど、生徒自ら企画し団結してプライドを示してくれました。来校者数3,822人の新記録を達成し、市内の他校が1,000人前後であることを考えると、市内を代表する学校祭と言えます。

進路面では、この春卒業した学年が、昨年末のラグビー全国大会に出場し現役で山形大学医学部に合格した生徒をはじめ、国公立大学に県内高校の中で最多の合格者数を記録しております。

「師弟同行」のもと、教職員、生徒一丸となって、高いレベルでの「文武両道」を実践してまいりますので、皆様には今後とも本校への変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い致します。





「身近な薬用植物あれこれ」

その4

渋柿から甘柿へ、

そして柿渋の活用

南高12回卒 奥山 徹

柿は中国原産で日本でも多くの品種が栽培されておりですが、温暖な地域を好むことから北海道には自生しておりません。一般に温暖な地域では甘柿が多く、東北地方・山形では渋柿の名産品が多い背景がここにあります。

ところで、いずれの柿にも糖類、ビタミン等と共に、4〜8%のタンニンが含まれております。渋柿も冬に完熟すれば甘く食べられます。渋柿を甘くするには、渋抜きをすると言いますが、いずれの方法も（炭酸ガス、アルコール処理、温水処理、干し柿等）渋を取り除くのではなく、果実の水溶性タンニンを縮重合させ、不溶性・唾液に解けない難溶性タンニンに変化させるのです。甘味成分が増減するわけではありません。

柿渋の活用方法として、「柿タンニン」は防水、防腐、防虫効果があり、ベンガラ（赤色顔料の一種）と混ぜ合わせた塗料、友禅染の型作り、器具の塗装、和傘作りや日本酒の濁

り取りに用いられます。また干し柿を作る際の皮は乾燥し、「やたら漬」や大根漬け等に加えると一層の味わいを増します。

次に、果実のがく（蒂）は漢方方剤「柿蒂湯」（柿蒂、丁子、生姜で構成）として、胃腸が冷え切って食欲がない、術後に体力がない人、特に、「しゃっくり（吃逆）止め」には有効で、臨床面では良く使われます。更に、柿渋は高血圧、夜尿症、かぶれに有効です。

（明治薬科大学理事長・名誉教授）



渋柿が雪の中で甘く完熟している  
（東根の実家にて）



上山市葉山・名月荘で撮影



柿の原産品・マメガキ（果実：1〜1.5cm）  
12月頃黒褐色に熟す（川崎の自宅にて）



渋柿の活用・応用編



上山での干し柿風景



# ナビブ砂漠と 野生の動物たち

南高12回卒 毛利 昭



この度、南部アフリカ5カ国（ナミビア・サウスアフリカ・ボツワナ・ジンバブエ・ザンビア）を巡る12日間のツアーに参加してきました。ナミビアではナビブ砂漠を横断し、南アフリカではアフリカ大陸最南端の喜望峰を巡り、ボツワナでは車上とボートによるサファリを楽しみ、ジンバブエとザンビアの国境にあるビクトリア大瀑布を徒歩とヘリコプターで観賞して参りました。しかし、アフリカは広いですね。ナビブ砂漠だけでも九州より一回りも大きいのですから移動は大変です。砂漠の入り口の街ウイントフックまで日本から20時間近く（直行便が無いいため香港まで4時間45分、南アフリカのヨハネスブルグまで13時間、乗り換え

てナミビアまで2時間）で、待ち時間を入れれば丸一日の大仕事となります。フライトは夜を追いかけようとに西に飛び続け、南アフリカの首都ヨハネスベルグ付近で朝に追いつかれます。疲れた体も、アフリカの大地を真っ赤に染めながら昇り来る太陽を目にすれば蘇ってきます。

ナビブ砂漠は世界最古の砂漠とも言われ、赤い砂漠と白い砂漠があることで知られております。周囲には最古の部族と言われるホッテントットやブッシュマンなども夫々コイ族やサン族などと呼ばれ、今でも住んでいるとの事でした。大西洋から吹き付ける風により育ったと言われる砂丘は、当初は白色だが次第に酸化して赤く変わっていくとの事でした。巨大な砂丘にはデューン〇〇と識別番号が付けられており、赤い砂丘ではデューン45が有名で高さは300mを超えるといわれております。ホテルは砂丘の近くでしたが、其処に至るまでのアクセスはナミビアの首



都ウイントフックから400kmと長く、ほぼダートの道を疾走するものでした。我々を乗せた小型バスは100kmから120kmもの速度で爆走するもので、さながらダカールラリーを髣髴させる迫力がありました。後方には煙幕のような砂塵を巻き上げ、車体を大小に震わせながら走る車に命を委ねるしか術は無く、緊張の6時間は短く感じられるほどでした。当然休憩所などは無くトイレは野外と決まっております、久々の「キジ打ち」を体験することが出来ました。乾季のこの時期は埃まみれになるこの道も、雨季には冠水するとの事で、それを示すユニークな道路標識が建てられておりました。時折、遠方にジャッカ

ルやダチョウ、シマウマ、オリックスなどの姿が見えるのが救いでしたが、振動のため写真は無理でした。砂丘を目にすると何故か登りたくない悪癖があり、デューン45には朝晩の2回の登攀を敢行しました。踏み込めば崩れ落ちる砂丘に登るに



は、とび職の人たちが履く地下足袋が最高でした。地下足袋を珍しがる外国人観光客には「ニンジャブーツ」と足を持ち上げ誇示し、羨ましがられてきました。地下足袋はその後のサファリ（動きやすい）やビクトリア大瀑布見学（滑らない）でも威力を発揮してくれました。僻地観光にお出かけの際は、嵩張りませんで地下足袋の携帯をお勧めします。

砂丘の撮影には夕刻と早朝の時間帯のほうが、陰影のある雄姿捉えることができるとの事で4時半に起床して砂漠に入りました。ナビブ砂漠の地平線に昇る御来光を眺めながら、そう言えば「今年の初日の出は、ヒマラヤ山麓4000mの村だった」などと感傷にふける余裕もありました。

アフリカと言えば野生の動物ですが、本当に面白いように出没してくれました。写真はチョベ国立公園で撮った動物の写真ですが、「やはり野に置けレンゲソウ」ではありませんが、乾季であるにもかかわらず動物たちの肌は艶々と輝き、ジャングルに溶け込んでおりました。国立公園のサファリでは、いつの間にかバッファローの群にサファリカーが囲まれていたり、像の群れの川渡りなど記録映画でしか見ることでできなかった現場を体験してきました。その辺りは次回にでもレポートしたいと思っております。

# リベンジ(雪辱) させたい男二人

南高14回卒 佐藤 守彦  
(柔道部)

小松栄三郎副会長に煽て上げられ、凝りもせず3回続いた自慢話？も、土田和男君(25回野球部、甲子園出場)が引継ぐことになったのを幸いに、終りにしようと思っていた矢先、小松副会長以上に熱心かつ強引に、先輩(しえんぱい)原稿書いでけろと頼まれた(大きな体で老生の頭を見降ろして)、生意気だが可愛い後輩から頼まれた以上嫌とは言えず、誰も読んでくれそうもない事を、また書かせて貰うことになりました。

今回のタイトルは、リベンジ(雪辱)です、最近国民の80%が雪辱ではなく、リベンジを使っているそうですから、リベンジとしました。現在、老生が会長をしている拓大(いつも拓大で恐縮です)の体育協議会(拓大の全運動部の連合体)の関係で、必ずやりベンジを果たして貰いたい後輩二人の事です、一人はボクシング部OBの内山高志(うちやまたかし)君36歳、もう一人はレスリング部OBの高谷惣亮(たかたにそうすけ)君27歳です。内山君はご存知の方も多いと思いますが、プロボクシング元WBAスーパーフエザー級世界チャンピオンです。2010年から6年3か月

間無敗を誇り、しかもほとんどがKO勝ちのスーパージョウ級チャンピオンでした。それがそれが今年の4月27日、同級1位ジェスレス・コラレス(パナマ)に、誰もが予想もしていなかった、第2ラウンドものの美事に一発KO負けを帰してしまいました。本人も何が何だか分からない内に終っていた、と言う事でボクシング部元OB会長の話によると、内山君の、一瞬の油断(気を抜いた)からで、さらに合い四つなので腰が入り強烈に効いた等々が、コラレスの一撃に集中した、との評でした。

実はこの、一瞬の油断(気を抜いた)は、レスリングの高谷君にも言える事なのです。

彼も内山君同様、高校時代からタックル王子等と言われ、フリースタイル74kg級で国内では敵無し、昨年の世界選手権では銀メダルを取っており、リオ五輪男子レスリングでは一番メダルに近い男として、NHKが特集番組で放映までしたのです。彼の敗因は内山君同様、当然研究はされていましたが、やはり一瞬の油断(気を抜いた)からです。優位に攻めていたが一瞬痛めていた首(五輪の1か月ほど前に首を痛めて、最終合宿では大事を取り別メニューで調整していた)をつかまれ、体を大きく返されての逆転負けでした。勝負師は、一瞬の油断(気を抜く)は敗北です。昔から諺通り、油断大敵なのです。内山君は、この原稿を書いていた

10月12日、老生の念願通り現役続行を表明し、今年の大晦日にコラレスとの再戦を果たす、絶対勝つてチャンピオンに返り咲くと力強く正式発表しました。必ずやりベンジを果たしてくれるはずですよ。

一方、高谷君からは直接、東京五輪では必ずリベンジを果たしますとの覚悟のほどを聞いてますので、引き続き支援して行きたいと思えます。

ここで二人の名誉の為言っておきますが、二人とも慢心したり、驕りたかぶる様な男達ではありません。むしろ謙虚で礼儀正しく、静かに闘志を燃やし、胸に秘めるタイプです。だからこそ今度は一瞬の油断をせず、リベンジを何としてでも果たせてやりたいというのが、老生の心からの願いです。

皆様も今後機会がありましたら、ぜひ応援よろしくお願いいたします。

ここまで稚拙な文を読んで戴き感謝申し上げます。

スポーツだけでなく、人生すべて「油断大敵」ですぞ、老婆心ながら。

合掌

掲載の写真ですが、三人の方は老生の左が内山君で、右は後輩のプロボクシング三階級制覇の現IBF世界ライトフライ級チャンピオンの八重樫東君と今年の拓大関係の新年会で、二人の方は最近の高谷君とのリオ五輪報告会でのものです。



最近の高谷君とのリオ五輪報告会



(左)内山君。(右)後輩のプロボクシング三階級制覇の現IBF世界ライトフライ級チャンピオンの八重樫東君



# 還暦を迎えて

南高25回卒 村岡 登

山南25回生は、本年還暦を迎えます。何とも実感がありません。還暦を迎えるということで、本年7月16日(土)に、山形グランドホテルにて、25回生の還暦同窓会が盛大に行われました。懐かしい友も数多く出席されておりまして。何と言っても、80歳を過ぎた3人の恩師(吉江正夫先生、加藤正三郎先生、武田充興先生)もご出席下さいましたことには大変うれしく思います。とくに吉江先生は、病気を患いながらも家族を説得してのご出席ということでした。



還暦同窓会集合写真

通常は健康を理由に出席をお断りするのですが、この25回生の同窓会には何としても出席したいと思ったそうです。吉江先生は25回生の野球部長として甲子園出場を果たした方です。先生にとつて、この甲子園出場は25回生を忘れられない大きな出来事だったということをご挨拶の言葉の中にしみじみ感じました。金字塔を立てた25回生野球部に感謝です。正に我々25回生の誇りです。

さすがに還暦を迎えただけあって、皆、いい面構えをしております。最初は、誰かわからず、名前を聞いてもピンとせず、話しているうちに、するめを噛むように昔のことが少しずつ思い出されました。何とも妙な感じでした。最初は誰かわからず「さん」付けて呼んでいたのが、終いには、「おい」「おまえ」呼ばわりです。昔の仲間はいいものですね。



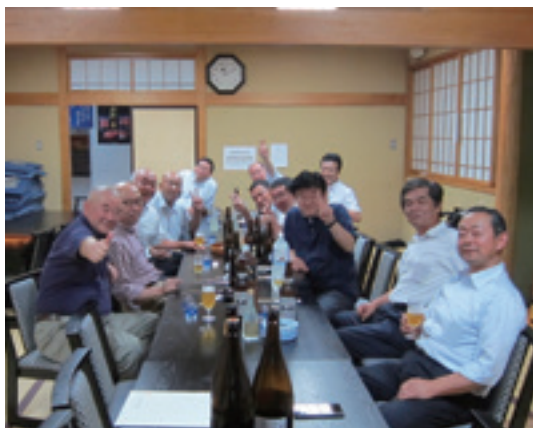
吉江先生のごあいさつ



校歌斉唱

ほんとうに出席して良かったと思います。聞けば、山形ではほぼ毎年同窓会をやっているというではないですか。お開き後によく思い出す友もおりましたので、記憶を保つためにも、できれば10年前くらいに一回くらいは会っておけばなお良かったかなとも思います。それにしても、多くの同窓生に会って自分の年をつくづく実感しました。やはり還暦ですね。顔にできたしわの年輪に、これまでの活躍と苦労が出ています。問題と解答を同時に見ながら話しているようで妙です。これからは、誰しも多分にしてさらに人相が変わっていくものと思います。今回皆と会えたことはとても貴重に思います。野球部の中嶋くんの計らいで、2次会を自宅でセットしてくれました。2次会もとてもにぎやかで大変楽しく過ごすことができました。2次会をお開きした後、ほとんどの人は帰りましたが、私はホテルに帰るには早いかと思つて飲みを誘う友

を探してたら、野球部の3次会が始まり、いつのまにか野球部でない私もその中にいました。3次会には東京から参加した、東京同窓会の土田くんや、同じクラスで仲のよかった武田くんもおりましたので、そのまま勝手ながら、違和感なくその中に溶け込んでいました。3次会では、甲子園での試合や、甲子園に行くまでの他校との試合のときの心境など、興味をそそる話が多々ありました。3次会にいないと聞けない話ですね。できれば、この紙面でそのときの内容を少し紹介できれば良かったのですが、あの時はすでに4時間以上も飲んでおり、十分に酔いも回っておりましてので、記憶が飛んでしまいました。いずれにしても、このような機会を作って下さった野球部の皆様、とくに中嶋くんに感謝します。ありがとうございました。



中嶋邸での野球部OBとの三次会



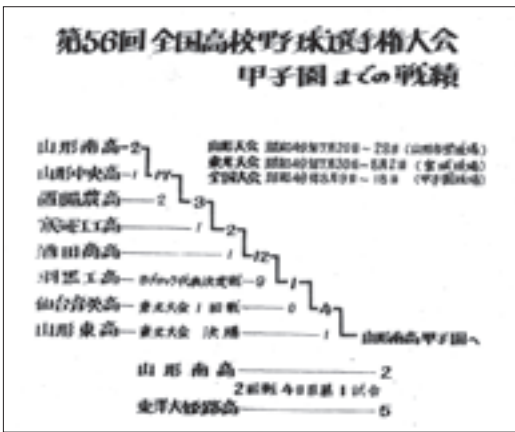
# 十六年ぶり四度目の 甲子園出場

(昭和49年夏)

南高25回卒 土田 和男

厳しい練習に耐えられず、野球部員数は十八人の少数精鋭。山形大会前には全く注目されていなかったが、ノーシードから勝ち上がり、優勝候補の羽黒工業に9回に逆転勝ち、山形・宮城の代表決定戦・東北大会でも仙台育英に完封勝ち、決勝では宿敵山形東に4対1で勝利し、十六年ぶり四度目の甲子園出場を決めた。

南高2回卒の吉田靖輔監督のもと、山形大会1か月前から4千本のノックで守備を鍛え上げ、攻撃面では徹底したヒット・エンド・ラン戦法で羽黒工業戦の逆転劇に繋がった。



東北大会優勝 対山形東高

た。

週刊朝日・甲子園大会号のチーム紹介では、「同校は県内でも有数の進学校。山形東に対するライバル意識は強く、特に野球部後援会の組織力、動員力は大きい。仙台市で行われた東北大会では、前夜テレビスポットで参加者を募り、貸し切りバス八台で乗り込んだ。後援会役員は「君たちは実力で3点とれ。おれたちは応援で2点とってやる。」と選手にハッパをかけており、十六年ぶりの出場に期待を寄せる。」とあったが、南高の応援はものすごい迫力があり、選手としては勇気百倍で戦うことができた。

甲子園では、春選抜優勝の報徳を破ってきた兵庫代表優勝候補の東洋大姫路との初戦。2対5で敗れたが、『健闘山形 さわやかな負け』と評された。(アサヒグラフ)  
この経験はその後の人生でも大い

に役立ち、現在に至っております。我が母校南高のご恩に報いるためにも、東京同窓会を陰で支えて参る決意です。



甲子園での南高大応援団



東北大会優勝パレード(南高正門前)



アサヒグラフ 熱闘・甲子園号より



甲子園初戦敗退 対東洋大姫路高

# 同窓会を思うにあたって パートⅡ

南高12回卒 加嶋 隆夫

今回は一昨年の同窓会報の続編ということで、同窓会全会員の方々にお話をしてみたいと思います。

内容はともかく個々に思うところ銘ずるところがあれば幸いです。今年の三月頃、新聞のコラム欄に同窓会に対する関心の高さが掲載されておりました。それによると、同窓会への関心を持ち参加を意識するのは65歳〜70歳が、全体の75%を占めるとのこと。人生の節目あるいは、人それぞれの人生を振り返る時期なのかもしれません。功なり名遂げた方々、人生のキャリアを積まれた方々の思い出に浸れる時間を共有するところが同窓会なのではないでしょうか。「朋遠方より来たる有り、亦樂しからずや」の心境がようやく実感できる出会いの場所なのかもしれません。東京同窓会の監事をお引き受けして2年余り、その活動についてはまだまだ至らないことばかりで、逆に皆様方からご支援ご協力を戴いているのが実情です。

監事として会を補佐して、東京同窓会を後世に引き継ぐことを念じていましたが、新たな展開がありました。一昨年から山形県人東京連合会の会合に、山形南高東京同窓会として再び参加することにしました。

今年も9月4日、ホテルニュー

オータニで約九百名が出席しての盛大な県人まつりが開催され、我が同窓会からも7名が出席いたしました。歌や踊りもある盛況なまつりでした。加盟団体も四十数団体に及び、

その中に南高の卒業生がおられ、山形南高東京同窓会の席に挨拶にみえられ、交流の輪を拡げることができました。来年はさらに出席者を増やしていければと期待しております。

私は現在江東区に在住しておりますが、江東区にも山形県人会があります。この会にも昨年からお花見、芋煮会、忘年会等に参加しております。メンバーの中には南高の卒業生も活躍されており交流を深めております。

また、南高12回生（昭和37年卒）の首都圏在住の同期が40数名おりますが、毎回10名以上が年3回〜4回集い合っております。この同期会の盛り上がりですが、私にとっては一番嬉しい会となっております。

12回生全体での同期会は毎年10月に山形で行われますが、併せて山形二中の同期会、小学校の恩師を囲む会等、幹事として毎年山形で開催しております。

最後に、山形南高東京同窓会の益々の隆盛のため、幹事の方々と協力しながら広報・渉外担当として、そして私のライフワークとして活動が続けて参ります。

## やまがた県人まつり

(山形県人東京連合会)

山形南高東京同窓会より代表参加

加嶋隆夫さんのご尽力により、山形南高東京同窓会の席を作っていただき各県人会組織で活躍されている南高OBの皆様方がかけていただき、交流の輪を拡げることができました。



山形県人東京連合会会長と



吉村県知事と



山形県人東京連合会総会



南高同窓会メンバーと



東京同窓会より参加メンバー



山形東高東京同窓会役員と



# 平成27年度 総会

平成27年11月14日(土) 14:30～アルカディア市ヶ谷にて開催



## 第一部

東京同窓会 毛利会長挨拶



収支決算報告



会計監査報告



## ビジネス交流①

「転換期を迎えている出版業界の現状と課題」

株式会社郁朋社 代表取締役 佐藤聡氏(南高29回卒)



## ビジネス交流②

「謙信の軍資金に学ぶ」

明治薬科大学名誉教授・薬学博士 奥山徹氏

(南高12回卒)



# 平成27年度 総会

平成27年11月14日(土) 14:30～アルカディア市ヶ谷にて開催

## 第二部 懇親会

### 来賓挨拶



山形南高 佐藤政士校長



山形南高同窓会 佐藤充彦会長



山形県人東京連合会 原田太吉会長



山形県東京事務所 笹原由之副所長



乾杯ご発声 奥山正博様(二中4回卒)



元気に乾杯!!





来賓の皆様



青春の思い出話はずみずみ



益々お元気です



東京同窓会役員一同



若手メンバーも楽しく



**交流会「暑気払い」に  
「元気に集い合っ  
平成28年6月24日(金)  
アルカディア市ヶ谷にて開催**

毎年恒例の暑気払いに、25名の会員が元気に集い乾杯！  
今回は7名の方が初参加。山形弁も飛び交い、南高健児ここにありを確認し合う楽しい交流の場となりました。  
来年も6月に開催予定ですので、是非ご出席ください。



**ラグビー部  
花園初出場！**

平成27年12月27日より、東大阪市花園ラグビー場にて第95回全国高校ラグビー大会に初出場。  
開幕試合で名門天理高校と対戦し、7対90で敗れたが、試合終了の際に執念のトライとゴールを挙げた。

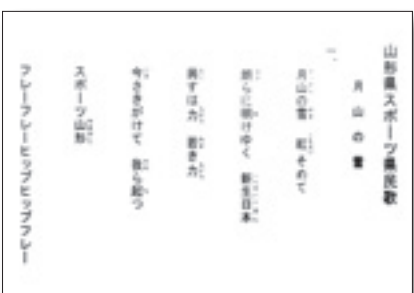


山形南高ラグビー部ブログより



**ふるさと山形への想い！  
きらやか銀行(山形市)  
都市対抗野球応援**

本年7月19日、東京ドームに応援山形県勢としては実に66年ぶりに本大会出場の快挙を果たした。  
東京同窓会でも応援を呼びかけ、毛利会長と共に駆けつけた。  
一回戦、名門パナソニック(門真市)に延長13回の激戦を制し初勝利。7月21日の二回戦は西濃運輸(大垣市)と延長12回の末惜敗。  
チャンスには「山形県スポーツ県民歌」の大合唱で応援。見事に特別賞を受賞した。



**山形南に女子合格  
44年ぶり共学へ**

本年3月18日の河北新報に掲載された記事から抜粋いたします。

東北唯一の県立「男子高」  
山形南は1941年に県立山形二中として開校、50年に現校名で共学となった。同校によると、62年度までは複数の女子生徒が在籍したが、一時不在の時期があった。転入した女子1人が72年度に卒業して以降は、再び男子だけが在籍していた。  
山形南OBからは女子生徒の受験段階で「女子生徒と交じって授業を受ける光景は想像できない」「南高には柔軟に対応できる素地があり、うまくやっていると「はず」などの声が上がっていた。

**秋の叙勲 喜びの受章者**  
平成27年11月3日

**瑞宝小 綾 章 昭  
毛 利**

(元公立高校長)  
山形南高12回卒業  
東京同窓会会長



## 28年度役員紹介

事務局長	毛利 昭 (南高12回)	副会長	小松 栄三郎 (南高15回)	会計監査	九連山 幹彦 (南高10回)	会計監査	加嶋 隆夫 (南高12回)	顧問	森谷 亨 (南高1回)	顧問	斎藤 常男 (南高5回)	常任幹事	佐藤 守彦 (南高14回)	常任幹事	滝口 成一 (南高15回)	常任幹事	鈴木 淳一 (南高25回)	常任幹事	土田 和男 (南高25回)	常任幹事	村岡 登 (南高25回)	常任幹事	安孫子 謙三 (南高28回)	常任幹事	峯田 淳 (南高28回)	常任幹事	安孫子 雅敏 (南高29回)	常任幹事	高橋 英樹 (南高29回)	常任幹事	笠原 健 (南高34回)	常任幹事	山田 健嗣 (南高36回)	事務局	石山 清和 (南高32回)	事務局	高橋 裕 (南高40回)
------	--------------	-----	----------------	------	----------------	------	---------------	----	-------------	----	--------------	------	---------------	------	---------------	------	---------------	------	---------------	------	--------------	------	----------------	------	--------------	------	----------------	------	---------------	------	--------------	------	---------------	-----	---------------	-----	--------------

## 平成27年度会計報告

## 山形南高東京同窓会 平成27年度 収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

&lt; 収入 &gt; (単位: 円)

項目	H27予算額(A)	H27決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
総会費	780,000	498,000	△ 282,000	男性@8,000×60名、女性または80歳以上@6,000×3名
年会費	800,000	520,000	△ 280,000	@2,000×260名
寄付金	60,000	1,098,741	1,038,741	総会来賓(4名)祝金ほか、片桐秀昭様から100万円の寄付
広告協賛	100,000	112,000	12,000	一般広告の他に、名刺広告、ホームページのバナー広告が含まれる
雑収入	0	32	32	預金利子
前期繰越金	0	0	0	
合計	1,740,000	2,228,773	488,773	

&lt; 支出 &gt; (単位: 円)

項目	H27予算額(A)	H27決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
会場使用料	0	0	0	総会会場、来賓控室は懇親会経費に計上
懇親会経費	800,000	495,462	△ 304,538	飲食費等
会議費	10,000	9,030	△ 970	役員会・学年幹事会の会場料等
総会案内経費	430,000	402,480	△ 27,520	
議案書印刷経費	0	0	0	総会案内経費に計上
事務費	55,000	64,633	9,633	消耗品代、郵送運搬費、会報送料、振込手数料等
東京同窓会会報	130,000	119,372	△ 10,628	
ホームページ制作費	4,500	4,363	△ 137	
活動費	60,000	107,060	47,060	本部同窓会広告協賛、本部総会祝金、南高ラグビー部花園初出場後援金等
特別積立金への返金	353,749	353,749	0	
予備費	0	0	0	
合計	1,843,249	1,556,149	△ 287,100	

次年度繰越(収入合計-支出合計): 672,624円

## 山形南高東京同窓会 特別積立金 平成27年度 収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

&lt; 収入 &gt; (単位: 円)

項目	H27予算額(A)	H27決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
前期繰越金	107,911	107,911	0	
一般会計からの返金	353,749	353,749	0	
寄付金	0	0	0	
合計	461,660	461,660	0	

&lt; 支出 &gt; (単位: 円)

項目	H27予算額(A)	H27決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
母校貢献策	0	0	0	
一般会計への補填	0	0	0	
合計	0	0	0	

次年度繰越(収入合計-支出合計): 461,660円

篤志家のご寄附の  
お願い

東京同窓会の活動費のためにご寄附くださる方々を募集しております。  
郵便局の次の口座までご送金くださいますようお願い申し上げます。  
口座名: 山形南高東京同窓会東京支部 口座記号番号: 00110 - 7 - 581420

回卒	同窓会員名	
南高4回	佐藤登左衛門	平成27年10月11日
南高4回	三浦賢一郎	平成22年6月21日
南高4回	村上(窪田)玲子	平成23年6月24日
南高4回	吉野 純市	命日不明
南高5回	遠藤 敏三	平成24年7月30日
南高5回	岡崎 至里	平成23年12月24日
南高5回	菊地 正昭	平成26年1月26日
南高5回	小関 広保	平成23年6月30日
南高5回	齋藤 健一	平成24年5月30日
南高5回	佐藤 浩一	命日不明
南高5回	佐藤 友康	命日不明
南高5回	佐藤 秀彦	平成25年3月4日
南高5回	椎名 暁	命日不明
南高5回	鈴木 正二	平成24年6月12日
南高5回	鈴木 浩	平成21年6月19日
南高5回	武田 修	命日不明
南高5回	富樫 義昭	命日不明
南高5回	長岡 周吾	平成22年7月1日
南高6回	秋葉 文夫	平成28年2月29日
南高6回	中西 昌男	平成24年12月14日
南高7回	鈴木 忠	平成28年1月15日
南高7回	檜山 勝	平成28年1月29日
南高7回	渡辺 彰一	平成27年6月21日
南高8回	伊藤 剛正	平成27年10月11日
南高8回	神野 光正	平成28年3月26日
南高8回	村川さち子	平成28年2月15日
南高9回	奥山 元	平成27年11月27日
南高10回	太田 芳信	命日不明
南高10回	小関 俊爾	命日不明
南高10回	山本 晃	平成25年12月31日
南高11回	奥山 英樹	平成22年10月5日
南高11回	渡辺(宇野)昭治	命日不明
南高12回	小川 勝美	平成28年1月17日
南高12回	高橋 秀直	平成28年5月4日
南高12回	田中 真二	平成27年5月2日
南高12回	中川 涼一	命日不明
南高13回	白田 信司	平成28年5月22日
南高13回	長岡 敏生	平成28年2月20日
南高13回	中台 正平	平成25年4月27日
南高13回	中山 完	平成27年10月31日
南高13回	船橋 宏	平成28年5月24日
南高13回	松田(富田)高儀	平成22年5月7日
南高13回	丸山 兼一	命日不明
南高13回	横尾 隆司	平成27年6月9日
南高13回	渡辺 武士	平成21年5月31日
南高14回	片桐 久智	平成27年12月20日
南高14回	土屋 辰脩	平成27年10月3日
南高14回	堀 真美	平成27年10月9日
南高15回	板垣 禎二	平成24年期日不明
南高15回	大類 光雄	平成22年7月19日
南高15回	鏡 則雄	平成24年9月5日

回卒	同窓会員名	
南高15回	木村 剛	命日不明
南高15回	高橋 信夫	平成23年8月
南高15回	高橋 良吉	平成25年10月12日
南高15回	広井 真之	平成24年9月19日
南高15回	結城(志賀)敏雄	平成27年10月22日
南高15回	渡辺 志郎	平成24年7月23日
南高16回	斎藤 吉弘	平成27年3月22日
南高16回	佐藤 義次	平成27年期日不明
南高16回	庄司 誠	平成5年11月29日
南高16回	高橋 秀夫	平成26年1月15日
南高16回	辻 光夫	平成27年11月
南高16回	中川 孝夫	平成27年9月
南高16回	長澤 俊博	平成28年8月2日
南高17回	後藤 行雄	平成18年4月23日
南高17回	高柳 裕	命日不明
南高17回	古川 博	命日不明
南高17回	森 俊通	平成25年12月16日
南高17回	吉田 守康	平成24年7月
南高18回	船越 隆	命日不明
南高19回	今野 昭	平成24年10月23日
南高19回	今野 彰	命日不明
南高19回	坪沼 良司	命日不明
南高19回	三澤 雄二	平成19年12月14日
南高20回	小野 義和	平成18年9月28日
南高20回	大宮 成介	命日不明
南高20回	斯波 荘六	命日不明
南高20回	吉野 雅士	平成18年3月29日
南高21回	小林 正雄	命日不明
南高21回	桑島 玲滋	命日不明
南高23回	高橋 正	平成23年3月3日
南高24回	赤城 康治	平成22年10月13日
南高25回	伊藤 龍一	平成21年9月7日
南高25回	遠藤 友敬	平成21年4月29日
南高25回	高橋 俊明	平成21年10月31日
南高26回	鈴木 慎吾	平成28年5月25日
南高27回	松井 憲之	平成27年9月22日
南高28回	山口 正彦	命日不明
南高29回	伊藤 智	平成26年2月
南高30回	児玉 信司	平成18年10月5日
南高30回	小松 郁雄	平成4年1月30日
南高30回	佐藤 宏之	平成5年10月2日
南高30回	結城 伸	平成23年7月20日
南高32回	佐藤 浩	平成15年1月24日
南高35回	斎藤 和徳	平成21年3月9日
南高37回	青木 淳一	平成28年5月27日
南高38回	木野 哲朗	平成22年11月7日
南高44回	鈴木 暢浩	平成13年11月22日
南高46回	鈴木 視良	平成22年3月22日
南高52回	奥山 清明	平成25年12月11日
南高65回	井上 大輔	平成28年5月15日





## 物故者名 (平成27年9月～28年8月)

2015年版同窓会名簿作成に伴い  
新たに判明した物故者名を追加しました。



(旧職員名)		(在任期間)	
管 伊兵衛 先生	数学	(S22.5～S44.3)	平成18年7月10日
佐藤不二雄 先生	英語	(S21.3～S22.3)	平成18年
堀口 昌太 先生	数学	(S61.4～S62.3)	平成22年3月25日
岩岡 豊麻 先生	体育	(S21.6～S22.1)	平成22年7月26日
渡辺 信三 先生	社会	(S38.4～S44.3)	平成23年10月29日
石垣 真一 先生	簿記	(S28.4～S30.3)	平成23年12月13日
富樫 義昭 先生	数学	(S41.4～S51.3)	平成25年2月21日
鈴木 文男 先生	生物	(S47.4～S53.4)	平成26年3月31日

(旧職員名)		(在任期間)	
高橋 勇 先生	社会	(S50.4～S55.3)	平成26年11月5日
外山 三郎 先生	体操	(S16.3～S17.3)	命日不明
結城 嘉美 先生	生物	(S16.3～S17.3)	命日不明
三宅 俊三 先生	剣道	(S16.3～S18.6)	命日不明
船山 謙次 先生	社会	(S20.4～S21.3)	命日不明
柿本 克也 先生	物理	(S26.4～S29.3)	命日不明
松岡 元久 先生	数学	(S38.4～S38.8)	命日不明
佐藤 誠 先生	英語	(S46.4～S62.3)	命日不明

回卒	同窓会員名	
二中1回	荒木 礼二	平成23年3月1日
二中1回	鹿野 義吉	平成24年9月17日
二中1回	佐藤 浩	命日不明
二中1回	清水 宏祐	平成22年1月27日
二中1回	鈴木(須藤)清	平成24年8月27日
二中1回	高島 真	平成26年2月2日
二中1回	高野 良介	平成24年11月1日
二中1回	堤 健一	平成24年9月17日
二中1回	豊川 徳郎	平成25年4月12日
二中1回	中山 昭栄	平成23年期日不明
二中1回	原田 禮三	平成27年9月
二中1回	古田 拓郎	平成23年10月22日
二中1回	松岡(松岳)慎二	命日不明
二中1回	水沢 龍誠	平成24年1月29日
二中1回	村山 友信	平成26年11月1日
二中1回	結城 弘	平成24年2月25日
二中2回3回	石山 隆一	平成9年3月11日
二中2回3回	伊藤 倉雄	平成23年12月19日
二中2回3回	遠藤 七郎	平成20年9月27日
二中2回3回	大貫 善男	平成23年5月7日
二中2回3回	開沼(鈴木)芳光	平成18年4月13日
二中2回3回	川 正明	平成24年2月8日
二中2回3回	佐藤 安宏	平成25年4月18日
二中2回3回	志田 亮作	平成23年11月16日
二中2回3回	飛川 芳男	平成26年12月17日
二中2回3回	船越 久彌	平成23年4月11日
二中4回	会田 平内	平成23年3月29日
二中4回	石倉 一司	平成28年3月25日
二中4回	大内 正博	平成24年9月4日
二中4回	佐野 昌弘	平成23年2月15日
二中4回	渋谷隆一郎	平成23年10月31日
二中4回	田中 稔一	平成27年10月26日
二中4回	田宮 昭	命日不明
二中4回	原田 勇	平成22年5月
二中4回	日野 清司	平成27年3月12日

回卒	同窓会員名	
二中4回(校友)	三浦 一男	平成10年頃
二中5回	會田 雄亮	平成27年10月28日
二高1回	武田 正	平成25年12月31日
二高2回	近埜 祐一	平成21年12月17日
二高2回	松田孝次郎	平成25年12月22日
南高1回	小川 貞治	命日不明
南高1回	多勢 祐一	命日不明
南高1回	長岡嘉四郎(貞四郎)	命日不明
南高1回	橋本(阿部)光四郎	平成21年1月1日
南高1回(校友)	小山田貞夫	平成24年3月25日
南高1回(校友)	加藤 信昭	命日不明
南高2回	厚朴 興二	平成27年9月24日
南高2回	伊藤 雅樹	平成24年期日不明
南高2回	岡 隆弘	平成27年9月30日
南高2回	鈴木 昊	平成25年4月13日
南高2回	高橋 光雄	平成27年9月1日
南高2回	寺崎 晋策	平成28年5月16日
南高2回	吉田(後藤)文男	平成28年4月21日
南高2回(校友)	塚本 育弘	平成24年3月29日
南高3回	相藤 隆一	平成28年7月19日
南高3回	押切 芳信	平成23年11月13日
南高3回	奥山伊奈雄	平成27年12月18日
南高3回	酒井 吉雄	平成28年1月8日
南高3回	佐川 久雄	平成27年10月20日
南高3回	白川 貢	平成25年9月14日
南高3回	沼澤(高橋)洋子	平成27年2月14日
南高3回	舟橋 一夫	平成27年10月23日
南高3回	皆川 二郎	平成27年10月30日
南高3回	吉福 務	命日不明
南高4回	五十嵐 章	平成24年3月7日
南高4回	石原 康市	平成8年5月31日
南高4回	伊藤 孜	平成27年11月10日
南高4回	井上 訓	平成28年4月9日
南高4回	岩勢 敬子	平成21年5月27日
南高4回	齊藤 佳郎	平成22年1月5日



蔵王を望む



素敵なCafeにて。(左)鈴木氏(右)土田



南高25回卒 土田和男

雄大な蔵王の山並みを一望するみはらしの丘に、終の住処として自宅兼Cafe・Baby Tearsを開店。(東京同窓会HPにも広告を掲載。) 本年七月、25回卒の還暦同窓会で山形に帰った際に訪問させていただいた。

鈴木氏本人はあと数年東京でのサラリーマン生活のため、月に何回か帰宅の逆単身生活。Cafeは、奥様とお姉様姉妹で運営される素敵なお店です。

山形にお帰りの際は、是非お立ち寄りください。

**鈴木淳一邸(25回卒)訪問  
山形市みはらしの丘**

東京同窓会の年間活動計画	
11月	総会の開催(アルカディア市ヶ谷)
12月	常任幹事会(総会の反省会報誌の送付作業)
1月	新年・交流会(アルカディア市ヶ谷)
3月	常任幹事会(年度の反省会)
5月	常任幹事会(総会について)
6月	暑気払い・交流会(アルカディア市ヶ谷)
7月	常任幹事会(総会について)
9月	常任幹事会(総会について)
9月	「やまがた県人まつり」に参加
10月	常任幹事会(総会について)

**東京同窓会から会報誌へのごお願い**

**皆さん参加の会報誌です。**

現在の状況や青春の思い出等、  
原稿を募集中です。  
1,000字～2,000字 写真も添付してください。

受付窓口：土田和男(南高25回卒)までご連絡ください。

〒187-0032 東京都小平市小川町1-888-5  
携帯番号：090-1508-1713  
メールでの寄稿もお待ちしております。  
kazuotsuchida@jcom.home.ne.jp



**山形南高東京同窓会  
ホームページ**

**オープンしてます!!  
最新の情報はこちらで——!!**  
HPの担当者：村岡登氏(南高25回卒)

<http://www.yamanan.jp>

**ご予約お願いします!!**

**来年度の総会開催のお知らせ**

**平成29年11月4日(土)**

**14:20 ~**

**アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて**

東京都千代田区九段北4-2-25

電話：03-3261-9921

**あとがき**

これまで東京同窓会報第7号から第12号まで、長年お世話になりました印刷会社、成田市の株式会社北陽様、とりわけ木内様のお蔭で、素晴らしい広報誌を発行することができました。心より感謝申し上げます。

この度、広報担当の交代に伴い新たな印刷会社に替わりました。引き続き会員同士の交流の役割を担う会報誌にして参りたいと思っております。

小松栄三郎